

ミニバックポーチ

かわいいミニバッグ型ファスナー付ポーチ。「貼り仕事」ならアイロンで簡単にファスナーが付けられ、細い持ち手もサイズ通りに作れます。小さな革タグをつけるとミニチュア感が出ていっそうかわいくなります。中に小さなものを入れてプレゼントしても喜ばれます。

材 料

<ポーチ>

- ベース布 20×18cm 1枚 普通地や張りのない布の場合、布と同サイズの接着芯を裏に貼って使用します。(張りのあるきれいな形になります)77-931 仮接着芯 白(クラフト用接着芯)がおすすめです。
- 底布 9×18cm 1枚
- 持ち手にする布 3×20cm 2枚
- 飾り引き手付ファスナー 14cm(ファスナー部分の長さ) 1本
- 綾テープ(レーヨン製)または綿テープ 18mm幅×長さ14cm 2枚

※布やテープなど、素材は中温以上のアイロンがかけられるものをお使いください。

ポリエステルなど接着しにくい素材は事前に接着テストをして接着できるか確認してください。

<革タグ>

- 表革(厚さ1mm程度) 2×4cm 2枚
- 26-344 両面ハトメ 5mm ニッケル 1組
- 革ひも 0.4×24cm 1本 …ソフトな革を0.4cm幅にカットして革ヒモにしてもいいです。

準備するもの

<ポーチ>

- 58-444 布用強力ボンド「貼り仕事」
- アイロン(中温・ドライで使用)
- 定規(30cm程度)
- 布切りはさみ
- アイロン台
- しるしつけペン(あとで消せるタイプ)
- あて布(メッシュでない綿布)
- 22-736 仮止めクリップ(布を折りたたむ時の仮止めに便利です)
- 水で湿らせたタオル(布からはみ出したボンドをふき取ります)

<革タグ>

- 木づち
- パンチ(革にハトメの穴を開けます)
- 26-354 ゴム台(コンパクトな打ち台)

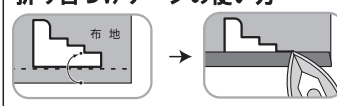


作品サイズ: 60×120×高さ60mm
(持ち手除く)

- ① 底布を図のように裏向きに置いて、上下両端の1cmずつを内側にアイロンで折ります。折る時に「貼り仕事」のパッケージ台紙に付属した「折り目つけゲージ」を使うと便利です。「折り目つけゲージの使い方」参照



折り目つけゲージの使い方



《1cmの折り目をつける場合》

折り目をつけたい高さに合わせて布地を折り、ドライアイロンで折り目をつけます。

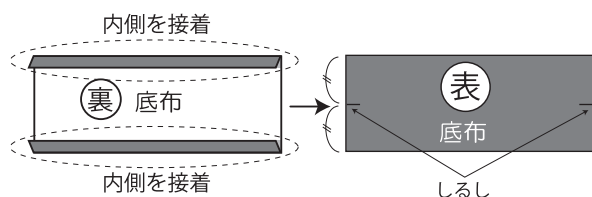
※イラストは、あて布を省略しています

- ② 布(持ち手)を図のように裏向きに置き、2つ折りにしてアイロンで軽く折り目をつけてから開きます。折り目に向かって上下端をアイロンで内側に折ります。折った部分の上に「貼り仕事」を薄く均等に塗ります。最初に2つ折りにした折り目に沿って折り、9mm程度の幅の平ひも状に整えてから、アイロンで接着します。持ち手は2本作ります。

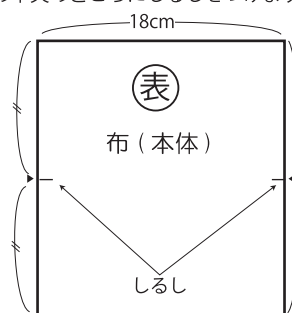
幅9mm程度の平ひも状にする



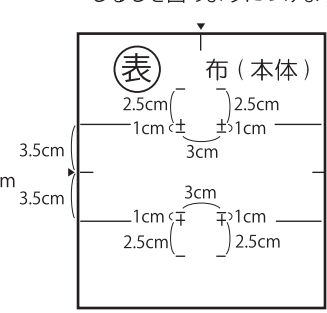
- ③ ①で折った底布の上下端の内側に「貼り仕事」を塗りアイロン接着します。表向きにして、図のように短辺の中央のところにしるしをつけます。※アイロン接着後はすぐに動かさず、冷めてから動かしてください。



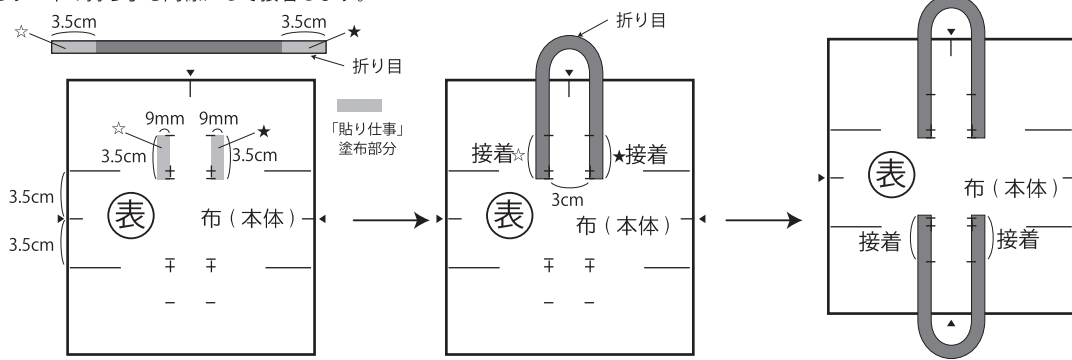
- ④ 布(本体)を表向きにして図のように長辺の中央のところにしるしをつけます。



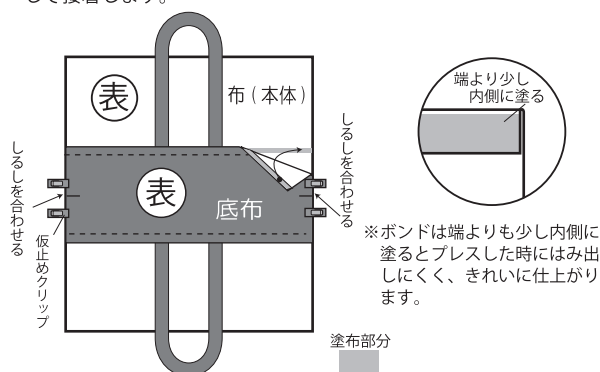
- ⑤ 布(本体)に持ち手と底布の位置のしるしを図のようにつけます。



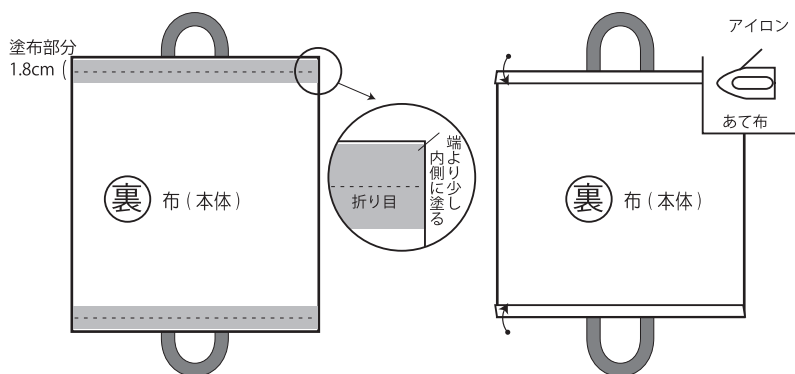
- ⑥ 持ち手の両端と布(本体)の図に示した塗布部分に「貼り仕事」を均等に塗ります。☆と☆、★と★の塗布部分を合わせ、布(本体)に持ち手をアイロン接着します。もう一本の持ち手も同様に接着します。



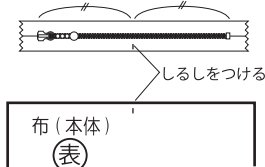
- ⑦ 布（本体）の上に底布を置き、しるしを合わせて仮止めクリップで止めます。底布の上端で裏に折った部分に「貼り仕事」を塗り、塗布部分が重なる布（本体）と持ち手と重なる部分にも「貼り仕事」を塗って貼り合せ、アイロン接着します。底布下端も同様にして接着します。



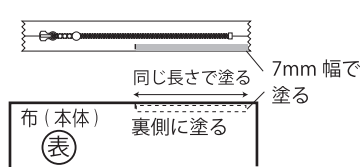
- ⑧ 布（本体）を裏に返します。上下の両端を内側に1cmずつアイロンで折ります。布の折り目を中心に1.8cm幅で「貼り仕事」を薄く均等に塗り、内側に折ってアイロン接着します。
※持ち手に接着剤が付かないよう、注意して作業しましょう。



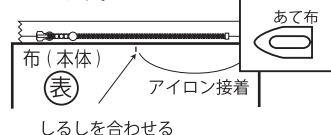
- ⑨ 布（本体）を表に返します。ファスナー（表向き：閉じた状態）のサイド中央と布（本体）の上端の中央にしるしをつけます。
※持ち手は邪魔にならないところによておきます。



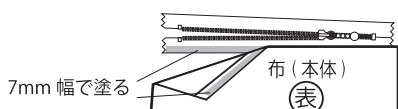
- ⑩ ファスナーのサイドの表側に7mm幅でしるしの近くまで「貼り仕事」を塗ります。ファスナーのしるしと布のしるしをめじるしにして布の上端の裏側にファスナーの塗布部分と同じ幅と長さで「貼り仕事」を塗ります。



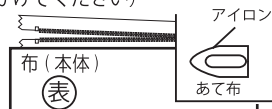
- ⑪ ファスナーと布（表）のしるしを合わせて布（表）の上端をファスナーのサイドの上に置いて貼り合わせます。ファスナーのサイド半分と布の上端をアイロン接着します。裏側からも接着部分をアイロンでプレスします。



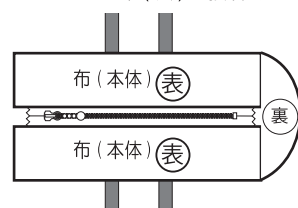
- ⑫ ファスナーを図のように開き、残りのサイド半分に7mm幅で「貼り仕事」を塗ります。布（表）の上端裏側にもファスナーの塗布部分と同じ幅と長さで「貼り仕事」を塗ります。



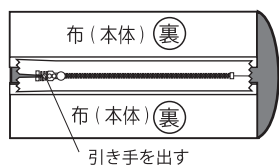
- ⑬ ファスナーと布（表）の上端をアイロン接着します。裏側からもアイロンでプレスします。ファスナーのもう片方のサイドも同様にして布（表）の下端と接着します。（裏側からアイロンをかける時は⑮で裏返した時にかけてください）



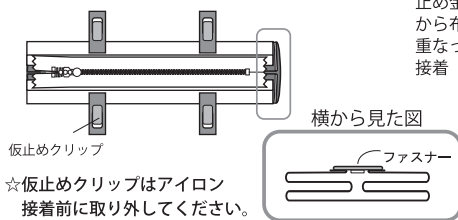
- ⑭ ファスナーと布（表）が接着できました。



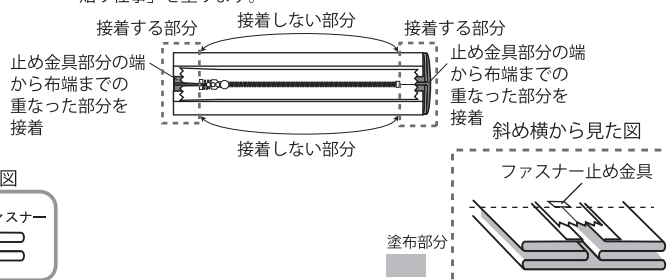
- ⑮ ファスナーを開いてから布を裏返し、ファスナーを閉めます。ファスナーは完全に閉めずに引き手を上に出しておくことで作業しやすくなります。



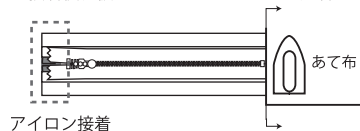
- ⑯ 図のように折りたたみます。アイロンでプレスして折り、型をつけます。その後、とめておく時に仮止めクリップを使うと便利です。



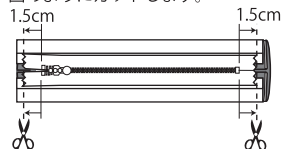
- ⑰ ファスナーの止め金具部分の端から布端に向けて重なっている部分に「貼り仕事」を塗ります。



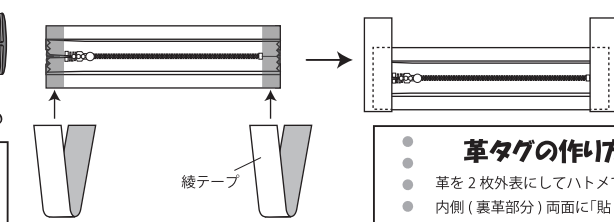
- ⑱ 塗布部分の上からアイロン接着します。（しっかりとプレス）上下ひっくり返して再度アイロンでプレスします。（両端同様にアイロン接着します）接着後、仮止めクリップでとめると圧着できます。



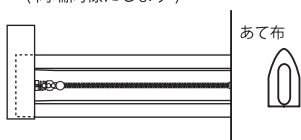
- ⑲ アイロンの熱が冷めたら、ファスナーの止め金具の端から両端1.5cmのところを図のようにカットします。



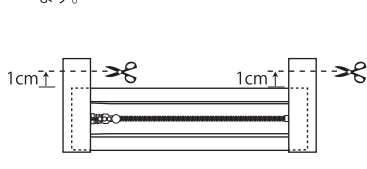
- ⑳ 綾テープ（または綿テープ）の片面とファスナー止め金具の端から両端の部分の上下に「貼り仕事」を塗り、テープを接着面を内側にして2つ折りにして、ポーチの両端をはさみ、押さえて圧着します。
（※ファスナー止め金具の端はテープではさまないでください）



- ㉑ テープの部分をアイロンでプレスして接着します。上下ひっくり返して再度アイロンでプレスします。（両端同様にします）



- ㉒ 接着部分が冷えたら、図のようにポーチの上端から1cmのところまでテープをカットします。



- ㉓ ファスナーを開けて裏返し、広げて形を整えます。ポーチの内側から両端をとめたテープ部分を押し立てると、重なった部分の形が整えやすくなります。

できあがり！

革タグの作り方

- 革を2枚外表にしてハトメで止めたなら
- 内側（裏革部分）両面に「貼り仕事」を塗り、自然乾燥します。
- 接着できたら好きな形に切って
- 革ヒモで持ち手に取りつけます。
- 両面ハトメ
- 内側に塗布